

— 重要文化的景観とは —

地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成され、我が国民の生活又は生業の理解のために欠くことが出来ない景観のうち、文化財保護法に基づき市町村の申出により文部科学大臣が選定する特に重要な景観のことです。

熊本県と阿蘇郡市7市町村が共同で進めている世界文化遺産の構成資産のひとつ、阿蘇市の草原景観の一部が10月13日に国の文化財「重要文化的景観」に選定されました。

阿蘇カルデラに広がる草原景観は、永い年月をかけて野焼きやあか牛などの放牧を繰り返して人為的に形作られた国内最大規模のもので、人と自然との共生を象徴するものとして世界に誇る宝です。

今回は7市町村それぞれの特徴をもった景観が「阿蘇の文化的景観」として同時に選定されたもので、平成25年の米塚及び草千里ヶ浜、豊後街道の文化財指定に続き、世界文化遺産登録の前提条件である国内候補の暫定リスト入りに向けたステップアップとなります。阿蘇の宝を世界の宝にするため、阿蘇市は世界文化遺産登録に向けた取り組みを進めていきます。

草原が 的景観に選定！

今回選定された阿蘇郡市7市町村の重要文化的景観



阿蘇北外輪に広がる草原

【文化的景観に関するお問い合わせ】

阿蘇世界文化遺産推進室 ☎ 3 4 - 1 6 4 3

詳しい情報は阿蘇世界文化遺産推進室オフィシャルサイトをご覧ください。

阿蘇世界文化遺産

検索

これまで熊本県と阿蘇郡市では、平成21年に阿蘇地域の活性化や草原をはじめとする地域資産の持続的な保全を目的として世界文化遺産登録を目指す協議会を設立し、阿蘇地域に点在する貴重な資産の調査を行い、国の文化財指定を中心に県と郡市共同で様々な取り組みを行ってきました。今回選定されたのは阿蘇市山田地域の草原の一部で、展望スポットとして全国的に有名な大観峰周辺の草原景観です。ここでは阿蘇五岳や九重連山が一望でき、野焼き・採草・放牧という阿蘇市ならではの営みで形成された重要な景観として、重要な文化的景観に選定されました。

今回の選定は、世界文化遺産登録への取組みでも中心的な役割を占めるもので、国の文化財として認められたことで、阿蘇の風景を価値ある貴重なものとして全国に発信することができます。

阿蘇の 国の重要文化

赤枠の箇所が重要文化的景観に選定された阿蘇北外輪山中央部の草原景観の範囲

